

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

2022 年度 学会・公開セミナーのお知らせ

○ 趣 旨

今、我が国の社会福祉政策の課題は、「地域共生社会」の構築である。このため、保健・医療・福祉・介護専門職の創造的な実践が何よりも問われている。2021 年度に、これまでの協議会活動の 20 年を振り返り、今後、地域共生社会の実現を目指すことを組織的に明らかにした。

2022 年度は、地域共生社会を構築するために現場の課題を明確にする「学会」を開催するとともに、今後、保健・医療・福祉・介護専門職は、何をなすべきかについて広く県民一般に周知する「公開セミナー」を次により開催する。

1 日 時 : 2022 年 12 月 17 日 (土) 13:00~17:00

2 会 場 : とちぎ福祉プラザ多目的ホール (宇都宮市)

3 参加方法 : ①とちぎ福祉プラザでの会場参加、②ズームによるリモート参加の 2 方法から選択

4 参加費 : 会員・学生 : 1,000 円 会員外 : 2,000 円、リモート参加 : 一律 3,000 円

5 申込先 : とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

〒320-8508 宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ 3 階

Tel : 028-600-1725 Fax : 028-600-1730 E-mail : tacsu@minos.ocn.ne.jp

または、国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 松永千恵子教授

Tel : 0287-24-3047 Fax : 0287-24-3791 E-mail : matsunaga-ch@iuhw.ac.jp

※ 入金の確認後「ミーティング ID・パスコードのメール送付」、「資料の郵送」(送料 370 円)

<プログラム>

(1) 13:00 開会あいさつ

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会代表	大友 崇 義
栃木県知事	福 田 富 一 氏
栃木県社会福祉協議会会長	関 根 房 三 氏
栃木県社会福祉法人経営者協議会会長	高 澤 茂 夫 氏

(2) 13:15

基調講演

「コロナ下の地域共生政策と保健・医療・福祉・介護専門のあり方」

講 師 鈴 木 康 裕 国際医療福祉大学学長



慶応義塾大学医学部卒。1984 年厚生省入省。1998 年世界保健機関派遣、2002 年栃木県保健福祉部医療監、2004 年栃木県保健福祉部長、2005 年厚生労働省医政局研究開発振興課長、2009 年厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局次長、2010 年厚生労働省保険局医療課長、2012 年防衛省大臣官房衛生監、2014 年厚生労働省大臣官房技術総括審議官、2016 年厚生労働省保険局長、2017 年厚生労働省医務技監、2022 年国際医療福祉大学学長*東京大学公共政策大学院客員教授、慶応義塾大学医学部教授

(3) 15:00

「学会・公開セミナー」パネルディスカッション

「コロナ下の保健・医療・福祉・介護専門職の課題とは何か？」

○ コーディネーター	国際医療福祉大学大学院教授	小 嶋 章 吾 氏
○ パネラー	栃木県ホームヘルパー協議会長	絹 木 憲 司
	栃木県医療社会事業協会会長	荻 津 守
	一般社団法人栃木県社会福祉士会長	松 永 千恵子
	一般社団法人栃木県介護福祉士会長	岩 原 真
	一般社団法人精神保健福祉士協会会長	稲 見 聡
○ コメンテーター	栃木県保健福祉部長	仲 山 信 之 氏
	栃木県社会福祉協議会常務理事	篠 崎 和 男 氏
	栃木県社会福祉法人経営者協議会会長	高 澤 茂 夫 氏
○ 指定発言	栃木市保健福祉部長	首 長 正 博 氏
	栃木障がいフォーラム世話人代表	村 上 八 郎 氏

(4) 17:00 閉 会

※ 当日は、「新型コロナウイルス感染症に対応した公開セミナー開催ガイドライン」を作成し、感染症対策に万全を期します。